

# いしのまきNN通信



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻管内の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら計画調整班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。



## 第13号の目次:

農業農村整備に関する授業を実施	1
「ふるさと学習講座inひろぶちぬま」を開催!	2
ティップレアの播種&草刈を実施	2
「田んぼの学校」(田植え)を開催	3
メダカなどの生き物を移動しました	3
農地集積担当者研修会を開催	3
中学生とともに花壇の植栽に参加	4
地域農業活性化研修会	4

## 農業農村整備に関する授業を実施 ～石巻市立前谷地小学校5年生～

7月12日、前谷地小学校(旧河南町)の5年生19名を対象に、総合学習の時間を活用して、農業農村整備に関する授業と現地見学を行いました。前谷地小学校では、昨年度も同様の授業を行っており、今回が2回目となります。

### 1. 農業農村整備の授業

まず、授業として、水田農業の変遷や前谷地地域における田んぼの水の流れについて、パワーポイントを用いて説明しました。田んぼで稲を育てるのに大量の水が必要なことや、ポンプの仕組みについて解説したところ、子どもたちは熱心に耳を傾けていました。



授業の様子

### 2. 土地改良施設の見学



用水管理システム見学の様子

次に、現地見学として、河南矢本土改良区が用意したバスを利用して、和淵、前谷地、笈入の各揚水機場及び用水集中管理システムを見学しました。

子どもたちは、揚水機場のポンプの大きさや、コンピュータを利用した用水管理システムに大きな関心を示していました。

子どもたちからは、「水の流れがよく分かった」、「ポンプなど機械が大きくてすごかった」などのコメントがありました。このような授業により、小学生に農業農村整備の重要性を理解してもらうことは非常に有益であることから、来年度以降も、継続していきたいと考えています。

## 「ふるさと学習講座inひろぶちぬま」を開催！

7月26日、広淵沼地区（旧河南町）において「ふるさと学習講座」を開催しました。本講座は、子どもたちをはじめとした地域住民の農業に対する理解と関心を深めていただくことを目的に、平成12年度から行っている講座で、今回が15回目になります。

### 1. 地域産業の学習講座

第1部は講義形式で、農業や田んぼに住む魚などについて学習しました。田んぼの水の流れについて（石巻地方振興事務所）・・・広淵沼地区の田んぼに必要な水はどこから流れてくるのかについて、説明しました。宮城の淡水魚（内水面水産試験場）・・・主に田んぼに住む魚の種類や生態、外来種の影響等について、お話をいただきました。



講義の様子

### 2. 田んぼの生きもの調査

第2部では、近隣の水路で田んぼの生き物調査や水質調査を行いました。調査の結果、下記の魚類等の生き物が確認されました。子どもたちは自分で捕獲したザリガニ等の生き物に興味津々でした。

確認された生き物（12種類）：コイ、フナ類、タモロコ、モツゴ、ウグイ、ニゴイ、ナマス、ヨシノボリ、ドジョウ、アメリカザリガニ、ヌマエビ、ヌカエビ

担当：計画調整班



ナマス



生き物調査の様子



水質検査の様子

## ティフブレア（芝草）の播種&草刈をしました ～河南3期地区～



ティフブレアの播種の様子



河南3期地区の調整池

7月5日、河南3期地区ほ場整備実行委員会、河南矢本土改良区とともに、総勢25人で県営ほ場整備事業が行われている河南3期地区の調整池において、ティフブレア（芝草）の播種及び除草を行いました。

同地区では、環境配慮のため、調整池の法面を土のままとする一方、昨年7月に、雑草抑制や害虫の繁殖防止に効果が高いとされるティフブレアの移植を法面に行いました。今回はそれに続き、調整池を囲うフェンスの周辺にティフブレアの播種を行いました。

作業工程は、重機や一輪車を利用して、山砂と堆肥をまき、その上にティフブレアの種を撒きました。

また、周辺の水路において、雑草が生い茂っていたことから、除草活動を行うとともに、調整池の周辺にショウブの植栽も行いました。

本作業により、調整池が「地域の憩いの場」として、ますます活用されることが期待されております。

担当：農地整備第二班



いしのまきNN通信 第13号

## 「田んぼの学校」(田植え)を開催 ～東松島市立赤井小学校～

5月21日、東松島市赤井小学校において田んぼの学校(田植え)が行われました。地元農家の方々や東松島市役所とともに当部職員も参加し、赤井小学校5年生34名を含む総勢約50名で、小学校近くの田んぼで田植えを行いました。同小学校の田んぼの学校は、田園自然環境保全・再生支援事業を契機として、平成15年から行われています。

初めに、地元農家の方々から田植えの方法について説明がなされ、その後田んぼに線を引き、田植えを開始しました。小学生は、初めは植えるのに手間取っていましたが、次第に慣れ始め、最後には自分から進んでスペースを見つけて田植えをしていました。当部の職員にも初めて田植えをする者もあり、貴重な体験をすることができました。

秋には稲刈り、収穫祭も予定されており、今後の稲の成長が楽しみです。

担当：計画調整班



一斉に田植えを開始



時間とともに上手になりました

## メダカなどの生き物を移動しました ～飯野川地区～

7月3日、県営ほ場整備事業が行われている飯野川地区(A=321.8ha)において、北上川沿岸土地改良区、施工業者、地元農家の方々とともに総勢16名で、メダカをはじめとする魚類の移動を行いました。これは、工事の影響により、水路内の魚類が絶滅するのを防ぐために行ったものです。

作業は、まず、タモ網やサデ網を用いて魚類の採取をしました。取れた魚は、メダカ、モツゴ、コイ、フナ、ドジョウ、ヌマエビなどで、多くの種類の魚の棲息が確認されました。

その後、工事の影響のない場所に、捕獲した魚を放流しました。

本作業を通じて、地域における環境配慮への理解が深まることを期待しています。

担当：農地整備第一班



魚の採取の様子



放流の様子

## 農地集積担当者研修会を開催

7月18日、石巻合同庁舎において、「石巻管内農地集積担当者研修会」が開催され、石巻管内で農地集積を担当している市の職員、改良区職員など総勢32名の出席がありました。

研修内容は、講師として、角田隈東土地改良区総務課長の齋藤啓二氏(県農地集積アドバイザー)を迎え、「枝野地区における土地利用調整組織(アグリセンター)の活動状況」について講演をいただきました。

齋藤氏は、角田市農業振興公社を介した一括利用権設定(村ぐるみ手法)の実践例を基に、アグリセンターの設立や活動方法について、様々なアドバイスをされました。また、終了後には活発な質疑応答がありました。

担当：計画調整班



講演の様子

## 中学生とともに花壇の植栽に参加 ～河南須江糠塚地区～

6月19日、河南矢本土改良区と須江糠塚地区地域環境愛護会が中心となって行った「平成19年度矢本幹線用水路敷地の花壇植栽作業」に参加しました。植栽作業は、国営造成施設管理体制整備促進事業の一環として行われたもので、地元の河南東中学校の生徒20名も含め、参加者は総勢50名近くとなりました。花壇は、矢本幹線用水路（管路）敷地の上に作られたものです。

作業は、婦人部の方々が花壇の土に穴を開け、水を流し込み下準備したところに、参加者が花の苗を植栽しました。花の種類は、サルビア、ペコニア、マリゴルドの3種類で、全部で約300株が植えられました。植栽後は、きれいな花々により周囲の雰囲気明るくなりました。

本植栽活動により、地域の方々が土地改良施設についての理解を深める一助となればと考えています。



植栽の様子



活動後の集合写真

## 地域農業活性化研修会～大曲地区～

6月20日、ほ場整備事業を契機とした地域農業の活性化を図るため、東松島市大曲地区において地域農業活性化研修会が開催されました。大曲地区は、平成21年度のほ場整備事業の採択に向けて、現在取組みを進めている地区です。研修会は、大曲地区集落営農実践委員会が主催し、東松島市内の他のほ場整備事業推進地区の農家の方々や関係機関の職員等を含め、総勢58名が出席しました。

まず、県農地集積アドバイザーの只野正宏氏から、「今後の地域農業を考える」と題して、集落営農組織「中埴営農集団組合」設立までの経緯、経営状況、今後の課題等について講演が行われました。只野氏の講演は、自己の体験に基づく具体的なアドバイスを含むものであり、終了後には参加した農家の方々から活発な質疑が行われました。

その後、大曲地区集落営農実践委員会委員長の高橋富夫氏から、大曲地区の将来構想について地域の方々が話し合っ取りまとめた「大曲地域活性化プラン」について説明が行われました。

担当：計画調整班



只野氏の講演の様子



高橋委員長の講演の様子



めだか のすめる たんぼ づくりをめざして

### 宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

TEL 0225(95)1411 (内) 478

Fax 0225(96)4880

E-mail iss-s-kt@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/nn>

編集・発行（創刊平成15年2月）  
宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部  
計画調整班 農村活性化担当